

訂 正

川崎医療福祉学会誌 5巻2号(1995)目次で誤記がありましたので以下のように訂正いたします。

目次

(誤)

臨床実習中の患者 —— 看護学生関係の対象 ——

看護者関係評価尺度 (CNRS) による分析 87

深井喜代子 新見 明子 田中 美穂

↓

(正)

臨床実習中の患者 — 看護学生関係の対象 — 看護者関係評価尺度 (CNRS) による分析 87

深井喜代子 新見 明子 田中 美穂

編集後記

私がこの編集委員会の委員として末席を汚して1年が経った。1年間の活動を振り返ってみると与えられた仕事をこなすだけである。前任校でも人文、社会、自然科学の領域から成る学内紀要があった。他分野の人達とそれぞれの学問分野の有様についてよく議論が盛り上がった。そんな中で分野の研究内容や日常会話から多くのことが学べた。本学の学会誌は境界領域、即ち学際的な学問を目指した「医療福祉」という新しい領域のものである。私が係わった時点では、難しい多領域の研究論文が一冊の学会誌にまとめあげられたものであった。ここまで育てあげられたのは、緒方委員長と田口委員、編集委員の皆さんや秘書室の方々の多大なご努力があったからと拝察する。

編集委員をしても投稿された先生方の論文を全て読み切れていない。この学校には、研究者として教育者として素晴らしい先生方が沢山いらっしゃる。そんな先生方から日常学べることも多いが、この学会誌を通して更に多くのことを学べたら少しでも学際的な思考が身につく、ひいては教育的効果の向上に繋がると思う。そのためにももう少し時間のゆとりが欲しい。それがこの学校の教育を創り上げていく近道かも知れないと1年間の編集委員の活動を振り返って思うこの頃である。

編集委員 加藤 保子